

				部会名	人づくり・地域づくり
施策No.	4-1-1	施策名	地域づくりへの参加促進	施策主管課	地域づくり課
<b>■内部評価について</b>					
①成果指標について	<p>・成果指標の項目は、施策の目指す姿に沿っているか。 →沿っている。ただし、現状の指標だけでは不十分であり、指標の追加が必要である。</p> <p>・目標値の設定は、適切か。 →設定根拠が不明である。目指す姿(多くの住民の地域づくり参加が実現している)が既に実現できているのであれば、ほぼ現状維持を保つ目標設定は適切と言えるかもしれないが、現状では目指す姿が達成されているとは言い難く、目標設定は適切ではないと考える(「他に考えられる指標はないか」も参照)。</p> <p>・他に考えられる指標はないか。 →山の駅のリピーターの確保状況を把握できる指標が必要である。なお、施設利用人数を成果指標とするのであれば、単なる利用人数の合計だけでは不十分であり、新規利用の状況やリピーターの定着状況といった、「活動の広がり」の捕捉を意識した設定が必要である。</p> <p>・成果指標の状況についての的確な分析を行っているか。 →分析が十分とは言えない。振興センターの利用人数の増加が見られる一方、他方では地域元気フェスティバルが取りやめられており、地域づくりを取り巻く状況は、必ずしも一方向にだけ変化している訳ではない。地域づくりの取り組みに関する現状の課題を的確に把握するには、なぜこのような複雑な変化が生じているのかについても分析を行う必要がある。</p>				
②施策を構成する事務事業について	<p>・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →地域づくりの参加促進をはかる直接的な取り組みが不十分である(地域元気フェスティバルをやめると、参加促進の取り組みがほとんどなくなってしまう)。</p> <p>・目指す姿の実現に貢献している事業か。 →施策評価シートに記載の事務事業一覧のうち、「山の駅・昭和の学校整備事業」と「地域元気フェスティバル開催事業」はいずれも地域づくりと直接関連しており、直結度は「A」が妥当である。「婚活支援団体助成事業」については、地域づくりの参加を直接促進するものではないため、直結度を「A」とするのは妥当ではない。</p> <p>・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 →ない。</p> <p>・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →市民憲章推進事業は、市民憲章単体で浸透をはかるのではなく、市民歌や市の花・鳥・木とセットで浸透をはかる工夫が必要である。また、地域元気フェスティバルは、「市民参画のきっかけづくり」の目的を考慮すれば、全市のコミュニティ会議を1か所に無理に集める方法ではなく、地域の事情に合わせた開催方法(数か所に分ける)や、若者や子供が参加しやすい開催方法の工夫の余地もあつたはずである。</p> <p>・他に考えられる事業はないか。 →地域元気フェスティバルに代わる、地域づくりへの参加のきっかけづくりとなる取り組みが必要である(上記「成果の向上を図る事業はないか」も参照)。</p>				
③施策の総合的な評価	<p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 →(今後の方向性)について、若い世代のファシリテーターやコーディネーターを養成しても、その人が同世代の一般市民と同じ視点で考え・行動できなければ、地域づくりの参加促進にはつながらない可能性がある。一般市民の地域づくりへの参加促進を効果的にはかる方策としては、これらの養成だけでは不十分である。</p>				
④シート記載内容について	<p>・施策の取り組み実績や事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 →なっている。</p>				